

『産婦人科における骨密度スクリーニングの 取り組みと外来における骨粗鬆症診療の工夫』 に関するご協力のお願い

研究の目的と意義	産婦人科外来を受診する人は月経異常や低体重、婦人科疾患の治療家庭が骨代謝に多大な影響を及ぼします。産婦人科外来において骨密度検査を行い、他科依頼をされた患者さんを対象に、低BMIと骨密度低下の関連性を検討し、産婦人科外来における骨粗鬆症早期発見のための介入対象と骨量減少について明らかにすることを目的としました。
研究の方法	2022年2月から2025年12月までに産婦人科からの他科依頼で骨粗鬆症外来を受診された71例のうち、60歳以下の女性49例を対象とし、%YAM値70以下群と%YAM値70%以上群に分けて比較検討を行います。検討項目としてBody Mass Index (BMI: kg/m^2)、血中ビタミンD値、既往歴、月経不順の有無と骨粗鬆症治療、海綿骨構造指標高リスク症例について調査します。 YAM値: 若年成人の平均骨密度を基準にした骨密度の割合のことです。
対象者	2022年2月～2025年12月までに産婦人科から他科依頼で骨粗鬆症外来を受診した60歳以下の女性の患者さん
利用する試料/情報	情報等: BMI、血中ビタミンD、既往歴、月経不順の有無、骨粗鬆症の治療内容、海綿骨構造指標高リスク、骨密度検査結果、整形外科他科依頼数
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第28回 骨粗鬆症学会で発表を予定しています。 公表する際は、研究対象者を識別することができないよう個人情報の保護に最大限配慮します。
試料・情報の利用又は提供開始日	院長による研究実施許可日
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2026年8月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。 ただし、お申し出が研究結果公表後の場合は、撤回することが事実上難しい場合があります。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 看護部/看護師/千葉 鮎美
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 看護部/千葉 鮎美